

だがしや楽校@子育て応援フォーラム

日時：2011年11月23日（水）13:00～16:30

場所：山形県生涯学習センター「遊学館」

2011年11月23日（水曜日・**勤労感謝の日**）朝霧 晴れ

【だがしや楽校@子育て応援フォーラム】

“山形発・子育て応援フォーラム”（主催：山形みんな子育て応援団、山形県）が山形市内（遊学館）にて開かれました。フォーラムは「笑顔の子育て ～みんな子育て応援します～」をテーマにして開催されたものです。

フォーラムですので、メイン・プログラムは講演会とパネルディスカッションですが、親子連れ・家族連れで来ていただけるように、“あそびのひろば”や駄菓子屋さんが設けられました。この発想は、明らかに“だがしや楽校”が影響している感じです。

というわけで、“あそびのひろば”では、主催者からの依頼もあり、“だがしや楽校”を開きました。“あそびのひろば”には、ほかにも子どもたちが楽しむことができる遊びのおみせが設けられ、メイン・プログラムよりも盛り上がった感じがするほどでした。

“だがしや楽校”を“子育て応援フォーラム”で開く背景は、親御さんたちに遊びを体験してもらうことで、家庭での遊びを豊かにしていただきたい、という思いがあります。だがしや楽校仲間がひとりでも増えれば・・・という願いもあります。それが、このフォーラムの目的である「楽しく子育て」につながるからです。

◇受付



フォーラムは午後 1 時 30 分開始で、受付開始は午後 1 時でしたが、それより前から子どもたちがやってきて、早くもにぎやかになりました。

それでは、“だがしや楽校” の模様からご紹介しましょう。



この日の“だがしや楽校”は、Riku さんを中心に、Yoshi さん（東北芸術工科大学・大学院）ら“楽描きだがしや楽校”の人たちにおみせを開いていただきましたが、始まってまもなく、写真のとおり、大にぎわいとなりました。

2 つのおみせを出しましたが、途中から Yuki さんによるおみせが加わりました。

▼スライム



スライムはどこへ行っても、子どもたちに大人気です。あのグニュグニュ・プヨプヨ感覚がたまらなく好きなのでしょう。



この日も、大勢の子どもたち、そして、おとうさん・おかあさんが遊んでいきました。



▼松ぼっくりツリー



約1ヶ月後にクリスマス控えて、この時期にピッタリの“松ぼっくりツリー”づくりです。



あらかじめ出来上がった“松ぼっくりツリー”をプレゼントしても、子どもたちは喜ぶでしょうが、やっぱり、子どもたちが、おとうさんやおかあさん、あるいはお友だちといっしょに、自分の手で、自分だけのたったひとつの“松ぼっくりツリー”を作った方が、余程楽しいと思います。

“松ぼっくりツリー”は、自分の好きなように作ることができます。つまり、創意工夫しながら、あるいは考えながら作ることができます。松ぼっくりという自然のものを活かした遊びでもあります。

そう言えば、フォーラムのパネルディスカッションでは「山形の豊富な自然を活用した遊びを」という発言がありました。



▼消しゴムスタンプ



「時間がありましたので遊びに来ました」と Yuki さん（東北芸術工科大学・大学院）が自主的におみせを出してくださったのが、Yuki さんのおみせではお馴染み“消しゴムスタンプ”です。おみせを始めた途端、子どもたちが集まりました。子どもたちはスタンプも大好きです。

それにしても、自主的に参加してくださるとは、本当にうれしくなります。これが“だがしや楽校”の良いところです。

続いて、“だがしや楽校”以外の“あそびのひろば”をご紹介します。

◆ぺたぺたふくろをつくろう・・・東北芸術工科大学



山形市内のみなみ公園で“だがしや楽校”を開いた学生さんたちによるおみせです。というわけで、こちらも“だがしや楽校”です。



シールを貼って自分たちの袋を作ってみよう・・・というおみせです。

◆牛乳パックでつくろう紙とんぼ・・・東北文教大学



竹とんぼならぬ紙とんぼのおみせは、最近よく見掛けるようになりましたが、いよいよ牛乳パックによる紙とんぼのおみせが登場です。



東北文教大学は、山形市内にあり私立大学です。前身は山形短期大学で、2010年より東北文教大学となりました。学部は人間科学部が設けられ、学科として子ども教育学科があります。それで、子どもたちとの触れ合いを大切にしていることから、この日の参加となりました。

◆ちびっこランド・・・羽陽学園短期大学



すべり台・バルーンアート・積み木など、楽しいものがいっぱいの“ちびっこランド”です。



プラバン・アクセサリーを作ることができるコーナーもあります。



一部の学生さんには“だがしや楽校”のおみせ（スライム）にも加わっていただき、子どもたちと触れ合ってもらいました。

羽陽学園短期大学は、山形県天童市にある私立大学で、羽陽学園短期大学として開設されたのは、1982年です。前身は山形幼稚園教員養成所であり、幼児教育者の育成に力を注いでいる大学です。また福祉に関わる人材育成にも力を注いでいます。

◆駄菓子店 “めぐりん”



会場には、駄菓子店 “めぐりん” も開店。受付で “めぐりん券” をもらった子どもたちが次々にやってきました。

ところで、この駄菓子店の2つの屋台は、鶴岡の “だがしや楽校” 仲間が、鶴岡と山形市内の駄菓子屋 “はじめや” に保管されているものを搬入したもので、これも “だがしや楽校” から派生したものです。

◎フォーラム

それでは、肝心のフォーラムについてご紹介しましょう・・・と言いたいところですが、“だがしや楽校” をはじめとする “あそびのひろば” が思っていた以上に大にぎわいとなり、フォーラムを取材できたのは僅かな時間だけになってしまいました。

フォーラムは、遊学館内のホールで行われました。プログラムは、前半が講演会、後半がパネルディスカッションでした。

○講演会

テーマ：楽しい子育てで子どもはのびる ～親力で決まる子どもの将来～

講師：親野 智可等 氏



講師の親野智可等さんの名前、なんと読むでしょう。“おやのちから”さんと読みます。もちろん本名ではありません。本名は杉山桂一さんで、1958年生まれの教育評論家です。公立小学校で23年間教師を務め、『ドラゴン桜』わが子の「東大合格力」を引き出す7つの親力「『叱らない』しつけ」などの著書があります。

メールマガジン“[親力で決まる子供の将来](#)”は、読者数が45,000人以上となり、教育系のメルマガでは最大規模です。

講演会では、親野さんの明るい声がホール内に響いていました。これで、堅苦しい声で話されたのでは、伝えたいことを矛盾してしまいます。

サッと聴いた感じでは、親野さんが言いたいのは「子育ては義務感をするのではなく、楽しくやりましょう。子育てが出来るという特権意識を持ちましょう」です。

○パネルディスカッション

テーマ：地域の絆が子どもを育てる

出演者：

コーディネーター・コメンテーター

松田 茂樹 氏（第一生命経済研究所 主任研究員）

パネリスト

親野 智可等 氏（教育評論家）

川島 高之 氏（NPOファザーリング・ジャパン）

野口 比呂美 氏（NPOやまがた育児サークルランド）

星川 龍一 氏（NPOいぶき）

パネルディスカッションでは、3つのNPOの活動紹介のあと、子育てに於ける山形の良さ、子育てする上での行政への要望などを話し合っていました。

その内、子育てに於ける山形の良さでは、山形にある豊かな自然を子育てに活かすべきなどの意見が出されました。

「山形の豊かな自然を子育てに」とはよく言われることですが、それでは、どうすれば良いのか、というのがなかなか示されません。本来なら、示さなくても自然にわかることですが、今の親御さんは、それがわかっていないと思うのです。

コーディネーター・コメンテーターの松田氏が「自然を子育てに活かすと良いことがありますか？」と尋ねていたのは、今の親御さんを代弁したのか、純粋にご自身がわからなかったから尋ねたのかはわかりませんが、便利な生活に慣れた親御さん、数字やお金でしか価値を見ることができない親御さんを、どのようにして、自然に親しむことの大切さをわかってもらうことができるのか、これが問題の核心です。

パネルディスカッションもごく一部しか聴いていませんので、そこまでの議論になっていけばよろしいのですが・・・。



この日の“だがしや楽校@子育て応援フォーラム”での子どもたちは、積極的に“だがしや楽校”仲間の人たちと会話していたのが印象的でした。

「見知らぬ人と話してはいけない」と教え込まれている現代の子どもたち。でも、好奇心旺盛である子どもたちは、本来いろんな人と話したいはずです。それが子どもたちの成長につながっているのです。つまり、私たち大人は、子どもたちの成長の芽を摘み取っているのです。

フォーラムを聴く時間は僅かになってしまいましたが、大勢の子どもたちが遊んでくれたことに感謝すると共に、親御さんや家族の人たちには“だがしや楽校”をはじめとする“あそびのひろば”での体験を、家庭での遊びや教育に役立てていただきたいと思います。

企画・制作・編集・文責

山口充夫

だがしや楽校コーディネーター